



第47回 全国学校安全教育研究大会 東京都学校安全教育研究大会

令和4・5年度 葛飾区教育委員会教育研究指定校

大会主題

自他の生命を尊重し、
安全のための行動ができる幼児・児童・生徒の育成
—危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために—



教育長あいさつ

花の木小学校では、令和4・5年度葛飾区教育委員会教育研究指定校として、「自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる幼児・児童・生徒の育成—危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために—」を研究主題に掲げ、意欲的に研究を進めてこられました。

本校では、教科指導、生活指導を通して安全に関する知識を高めるとともに、「生命(いのち)の安全教育」についても発達段階に応じ、各教科・領域との関連や関係諸機関との連携を図りながら指導を積み重ねられました。その取組により、自ら様々な危険を予測して回避する力を持ち、生活の中で安全に目を向けることができるようになったとの成果が報告されております。

この貴重な研究成果が、今後、葛飾区並びに東京都をはじめとして、全国の安全教育の充実・発展へとつながりますことを心から願っております。

結びに、本研究に熱心に取り組まれた、伊藤 進校長先生をはじめ教職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

葛飾区教育委員会 教育長 小花 高子

学校長あいさつ

今年(1923年(大正12年))に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。関東大震災は首都圏に未曾有の被害をもたらした災害であり、その発生日である9月1日が「防災の日」と定められています。その後、阪神淡路大震災、東日本大震災などの大きな地震が発生し、現在も日本各地で地震が起っています。また、子供たちが登校中に犯罪に巻き込まれたり交通事故に遭遇したりする事故が後を絶ちません。子供たちの安全を確保していくためには看過できない様々な問題が多くある中、学校・園における幼児・児童・生徒に対する安全教育の充実が、大変重要な課題となっています。

本校は、上記研究主題のもと、学習指導要領に基づく安全教育の授業を進めてきました。毎月の避難訓練、安全指導の充実にも取り組んできました。その一端を公開するとともに、全ての学校で実践していただけるものを発表します。講演と合わせ、今大会が皆様の学校安全教育の一助となれば幸いです。

葛飾区立花の木小学校 校長 伊藤 進

葛飾区立花の木小学校

令和5年度研究の概要

【研究主題】

自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる幼児・児童・生徒の育成
—危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために—

【研究仮説】

教科指導、生活指導を通し、安全に関する知識を高めるとともに学んだことを共有することで、自ら危険を予測して回避する力を持ち、生活の中で安全に目を向ける児童が増えるだろう。

【目指す児童像】

低学年	中学年	高学年
○身の回りの危険に気付き、大人に伝え、約束を守って安全な行動ができる児童	○危険の原因を理解し、危険を予測した安全な行動ができる児童	○様々な危険を予測し、進んで安全な行動をするとともに、身近な人々の安全にも気配りできる児童

【研究主題にせまるための手立て】

日常的な安全指導の充実

基本的事項を確実に身に付けさせるために、日常的な教育活動の中で繰り返し指導する。

◇生活指導夕会

児童の様子について教職員で共有するとともに、課題に対する指導や声掛けの仕方について共通理解を図る。

◇朝の会・帰りの会

日々の児童の様子に応じて、安全教育の内容について繰り返し声かけ・指導を行う。

定期的な安全指導の充実

身に付けた知識等を体験的に理解させるために指導する。

◇避難訓練(月1回)

訓練後に児童が自分の行動を振り返る場を設定し、安全に対する理解を深められるようにする。

◇安全指導(月1回)

年間計画に合わせた資料(プレゼンテーション・指導略案)を作成し、指導内容の充実を図る。

学習指導の充実

自分や他者の安全を守るためのよりよい行動等をじっくりと考え、深め、追究させるために指導する。

◇各教科・領域との関連

年間を通して計画的に学習できるようにする。

◇関係諸機関との連携

セーフティ教室や交通安全教室、歩行訓練、歩行シミュレーター訓練等を実施し、児童が体験的に学習できるようにする。

アンケート調査

児童の実態を把握するためにアンケートによる意識調査を行った。アンケート内容は生活安全、交通安全、災害安全、避難訓練に関するものに分けた。また、高学年、中学年、低学年ごとに表記等、アンケート内容を多少変化させた。アンケートは Google Forms を活用して実施した。

【アンケート質問項目(高学年)】

- ・校庭や校舎内では、どのようなことに気を付けてどのように過ごしていますか。
- ・留守番をするときに、知らない人から電話がかかってきたりお客さんが来たりしたときの、家での約束はありますか。
- ・不審な人に会ったときの対応、「いかのおすし」の意味を知っていますか。
- ・タブレットなどでインターネットを使うときの、家での約束はありますか。
- ・通学路の危険な場所(横断歩道やせまい道、車が多く通る場所等)では、どのようなことに気を付けて登下校していますか。
- ・自転車に乗るときは、どのようなことに気を付けていますか。
- ・火災が起きたときに、どのような行動をとるように気を付けていますか。
- ・地震が起きたときに、どのような行動をとるように気を付けていますか。
- ・火山の災害の発生に備えてどのようなことをしていますか。また、発生時に、どのような行動が大切だと思いますか。
- ・大雨、台風による災害が起きたときに、どのような行動をとるように気を付けていますか。
- ・雷の音が近づいてきたら、どのようなことに気を付けていますか。
- ・竜巻が起こったら、どのようなことに気を付けますか。
- ・大雪が降ったときに、どのようなことに気を付けますか。
- ・放射能による災害が起こったときに、どのような行動に気を付けますか。
- ・災害が起きたときに避難所の生活で気を付けることは、どのようなことだと思いますか。
- ・避難訓練・防災訓練等では、真剣に取り組んでいますか。
- ・不審者が学校に入ってきたら、どのようなことに気を付けますか。
- ・不審者が学校には入ったときに、流れる緊急放送の合図はなんでしょう。

資料

本校ホームページ上に研究に関わる資料のデータがアップロードされています。下記の 2 次元コードを読み取っていただくとアクセスできます。ご利用ください。



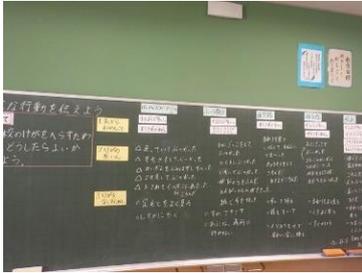
掲載されているデータ

- ・避難訓練実施案
- ・安全指導資料
- ・児童アンケート質問項目
(低・中・高)
- ・令和5年度アンケート結果

学習指導の充実

3年生

○特別活動(学級活動) 安全な行動を伝えよう



養護教諭から学校で起きているけがの実態を聞き、2次元表にまとめ、分析した。



けがを防ぐための合言葉とポスターの作成や発表によって、けがを減らす意識や日常生活に生かしていこうという意欲を高められるようにした。

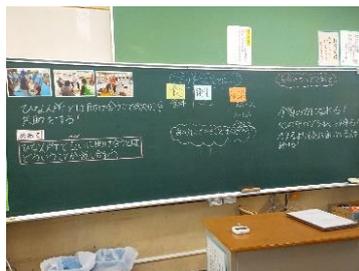
○自転車安全教室

亀有警察署から2名の警察官の方に来ていただき、お話を伺った。
普段から自転車の点検を行うことや並走してはいけないこと、ヘルメットをかぶること等映像を交えてとても分かりやすく伝えていただいた。

4年生

○特別活動(学級活動) 自然災害から人々を守る

様々な自然災害の被害の実態を、写真・映像等の資料を通して捉えさせることで、自然災害の危険を知り、危険を予測し回避する能力の育成につなげるようにした。



具体例を通して児童なりに自助・共助についての考えを深めた後、友達と意見を共有できるように Google Jamboard を取り入れた。

○スマホ・ケータイ安全教室



情報社会の一員としての意識をもち、リスクを回避する力を身に付けるために、ネットやスマホの上手な使い方、ネットの特性や危険について学習した。

5年生

○特別活動(学級活動) 自然災害とともに生きる



地図や地域の写真、AR(拡張現実)、映像資料等の視覚教材を使って災害発生時の様子を具体的に想像することができるようにした。



児童が地域の災害リスクを踏まえて必要な情報を収集し、安全確保のために何が必要かを考え、適切に意思決定することができるよう、授業に「葛飾区水害ハザードマップ」を取り入れた。また、国土交通省発行の防災カードゲームも活用した。

○着衣のまま水に落ちた場合の対処法の指導



水の中で助かるためには、助けがくるまで、浮いて待つことを確認した後、着衣やペットボトル等の浮力を使い、できるだけ長く水に浮く方法を学習した。



6年生

○理科 土地のつくりと変化



自分たちの土地のつくりを踏まえて、大きな地震が起きたときにはどのように行動したらよいか、避難の方法や事前の備えなどを考え、交流した。

自分たちの地域が液状化によってどのような変化をするかを理解するためにボーリング資料を活用したり、土地のつくりを再現した実験装置で実験したりした。

○e-ネットキャラバン

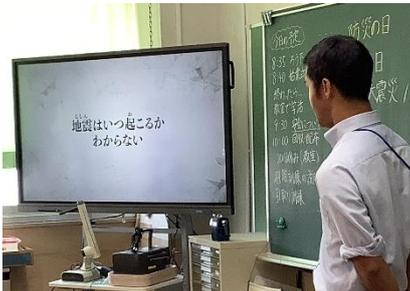
ネット依存やいじめ、詐欺等、ネットを使うことによって起こり得る危険やその対処法について、実際の事例も踏まえながら学習した。



安全指導の充実

○様々な状況に応じた安全指導の実施

校内での安全な過ごし方や登下校時の交通安全ルール、災害時の対応方法など多様な状況を想定した安全指導を月一回計画・実行した。



令和5年度		安全指導年間計画	葛飾区立花の木小学校
月	主題	指導内容	
4	学校の行き帰り	◎学校の約束や交通規則を守り、登下校時に安全な歩行ができるようにする。 ・通学路を通して登下校する。 ・危険な場所を確かめて安全に登下校する。 ・斜め横断や飛び出しなど、道路の危険な渡り方をしないようにする。	
5	学校のくらし	◎学校生活にも慣れ、活動的になる時期なので、学校生活の約束を理解させる。 ・廊下や階段は、右側を静かに歩く。 ・教室では静かに過ごす。 ・階段は、一段ずつ上り下りする。 ・道具は正しく使い、遊び場所の約束を守る。 ・校内外の危険な場所を知り、安全な場所で遊ぶ。	
6	暑い日の過ごし方	◎梅雨に入り、室内遊びが多くなるので、遊びを工夫させたり、登下校の歩行の安全に気を付けさせたりする。	

○プレゼンテーション教材や指導案の作成

毎回の安全指導では、略案とプレゼンテーション資料を作成し、全学級で統一した指導を実施した。また、NHK for school や文部科学省等の動画教材も活用した。

雨の日の あんぜんな あるきかた

- かさをさすとき 前をみる
- 風がつよい日 かっぱきる
- かさをさしたら 1れつあるき
- じめんが すべる 足もとちゅうい
→ややぜんけいで 足うらつける

1 ねらい		
・雨の日の危険な場所や生活を考えさせ、特に安全な歩行について理解させる。		
2 指導内容(雨の日の歩き方について指導する。)		
児童の学習活動	教師の働きかけ ・予想される児童の反応	備考
導入 ◎雨の日の登下校の写真を見て、どんな危険があるか考える。	◎雨の日の登下校のスライドを見せ、どんな危険があるか考えさせる。 (プレゼンテーション) ・傘で周りの様子が見えない。 ・傘で手がふさがっているので、転んだ時に怪我をする。 ・雨で地面が滑りやすくなっている。	雨の日の安全な歩き方.pdf
展開 ◎スライドを見て、雨の日の安全な歩き方を知る。	◎晴れの日よりも危険が多くなる雨の日は、どんなことに気を付けて歩いたらいいかを考えさせ、確認する。 ・前が見えるように傘を差して歩くこと	◆参考資料「雨の日のあるある探検隊」に歩き方の動画あり

○指導後の振り返りの実施

振り返りカードを作成し、指導後に振り返りを実施した。振り返りカードは厚紙に貼り、学習の歩みを蓄積していった。

あんぜんしどうよりかまり 安全指導振り返りカード 3月 (高学年)		こうがくねん	
ねん	ぐん	なまえ	なまえ
3月	日	◎よくわかった。 ○わかった。 △もうすこし	
「春休みを安全に過ごすために危険をとまらぬ遊びについて考え、事故を未然に防ごう」			
ねらい	・学校や家庭で決められた約束を守る。	◎	○ △
	・どこへだれと、何をしに、何時に帰るなどお家の人にきちんと伝えるようにする	◎	○ △
わかったこと・今後の生活に生かしたいこと 前までは誰と行くのかを言わないで行っていたからこれからは誰と行こうか考えた。			

実効性のある避難訓練の実施

○様々な状況を想定した避難訓練

これまでの訓練が形骸化していないか、改めて年間の避難訓練計画の見直しを行った。災害は不確実性が高いため、児童・職員みんなで「〇〇な場合はどうする？」と考え、様々な状況を想定して訓練を実施した。

令和5年度 葛飾区立花の木小学校

避難訓練年間計画

月日	ねらいと内容	時刻・想定	避難場所	想定
4/20 木 行 1/3	地震発生時の避難行動 避難経路の確認	3校時(15分) 11:00~ 11:20	校庭	地震
5/12 金 行 1/3	地震後火災発生時の 避難行動	5校時(15分) 13:35~ 13:55	校庭	給食室から火災 西階段使用不可
6/21 水 行 1/3	不審者対応と避難行動	3校時(15分) 11:00~ 11:20	各教室	中央玄関に不審 者侵入
7/18 火 行 1/3	台風接近による 学年での集団下校 学童クラブと連携	5校時(45分) 13:55~ 14:15	各教室	台風接近 集団下校
9/1 金 行 1	引き渡し訓練	3校時(45分) 10:35~ 11:20	各教室	地震警戒 宣言発令

○非常持出袋・警報笛の配備

全学級に非常持出袋を配備した。中には児童の出席簿と災害時の引き取り者が記載された『引き取り事前登録カード』を入れるようにした。非常持出袋は担任が持ち歩き、専科の授業の際には専科教員に渡すようにすることで、いつでもどこで災害が起ころうとも児童の安全管理が徹底できるようにした。

また、職員1人1人に不審者対応用の警報笛も配布し、常に持ち歩くよう徹底した。



○振り返りの実施

避難訓練後には毎回振り返りを実施した。振り返りを実施することで、訓練で学んだことを整理するとともに、実際の災害時に生かしているという意欲を高めることにもつながった。



ひなんくんれん 心りかえりシート

2月 9日 5年 3組 名前: 「中休みに地震や火災が起きたときのひなんくんれん」	◎よくできた ○できた △もうすこし
めあて ・中休みに地震や火災が起きたときのひなん行動を確認しよう。 ・職員室から火災が起きたときのひなん行動を理解しよう。	◎ ◎
・放送をよく聞くことができた。	◎
・先生の指示をしっかりと守ることができた。	◎
・「お・か・し・も」を守ってひなんすることができた。	◎
今後の生活にいかしたいこと 今後、ちがうところでも「お・か・し・も」を守り、ひなんをしたい。 中休みじゃなくても授業中の時でも、まずは放送をきくと 聞いてやり、命を守る行動をした。	